

1 調査の概要

学校評価の一環として、本校を保護者、生徒、教職員はどうとらえているかを調査した。本年度の重点目標である4項目を含め、可能な限り共通の質問を用い、3者の意識の違いを比較した。

答え方についてはA:大いに思う、B:そう思う、C:あまり思わない、D:全く思わない、の4つの選択肢を用い、保護者対象のものだけE:わからない、を加えた。

	生徒	保護者	教職員
回答者数	833	712	51
回答率	92.0%	78.7%	100.0%
調査日	H21年11月	H21年11月	H21年12月

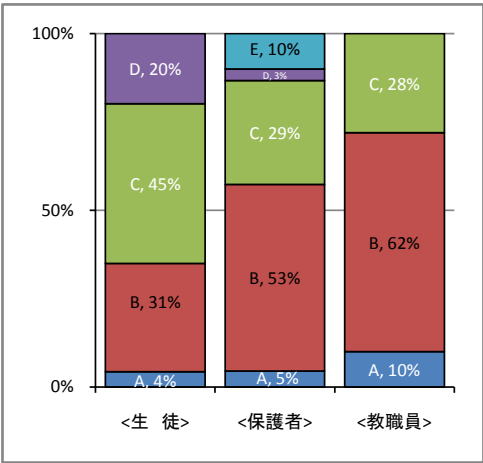
2 質問事項と集計結果

【 A,大いに思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【重点目標①】

学力の伸長

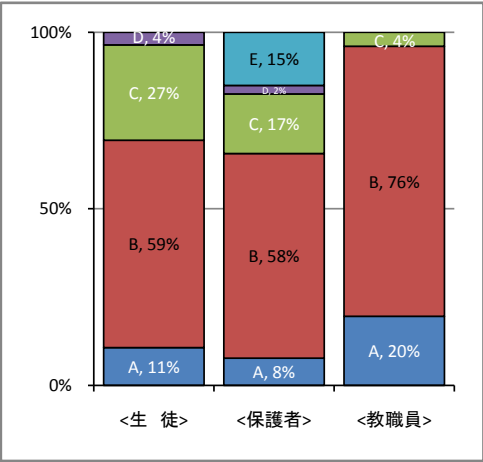
<生徒>	私は、宇北高に入学して学力が向上している。
<保護者>	宇北高の教育は入学した生徒の学力を伸ばしている。
<教職員>	本校の教員は、授業を通して、確実に学力を付けさせている。
保護者の60%、教職員の70%近くが肯定的にとらえている。しかし生徒の場合は全体の65%が否定的に答えており、ギャップが大きい。生徒が学力向上を実感できる教育活動の在り方について検討が必要である。	



【重点目標②】

進路の実現

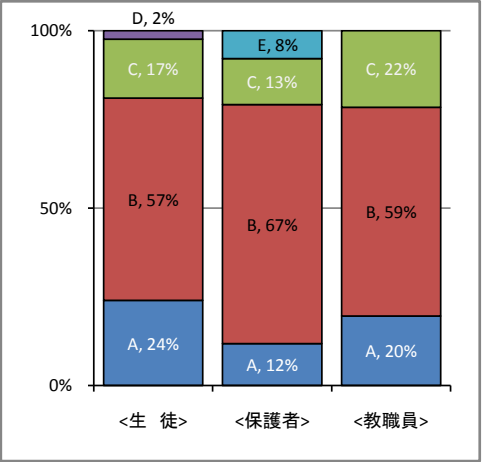
<生徒>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
<教職員>	本校の教員は、生徒の進路について、生徒の適性を生かし、希望の実現につながる進路指導を行っている。
「希望につながる進路指導」について、生徒や保護者の肯定的な回答は教職員に比べ20%程度低くなっている。生徒、保護者の約1/4が否定的に回答していることをふまえて進路指導全体計画や具体的な取り組みに検討が必要である。	



【重点目標③】

ルール・マナーの遵守

<生徒>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
<教職員>	本校の教員は、生徒に対してルールやマナーを守るよう指導に努めている。
3者とも約80%が「大いに思う」「そう思う」と回答し、本年度の取り組みが評価された結果となっている。だが教職員の20%近くが現状にまだ改善の余地があると考えており、規範意識の醸成に向けた取り組みについてさらなる検討が必要である。	

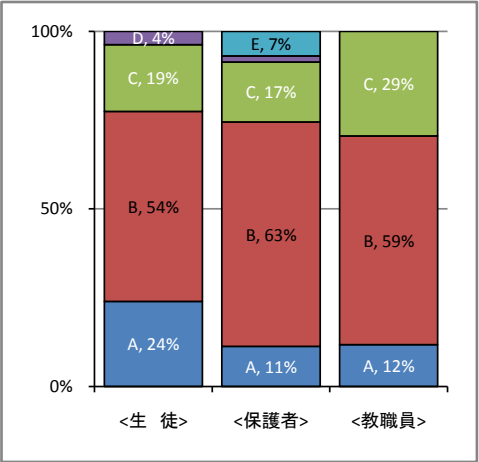


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【重点目標④】

生活指導の徹底

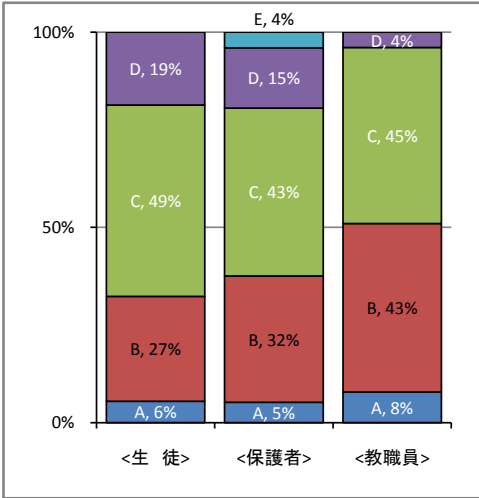
<生徒>	宇北高の先生は、生徒の生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)について、きちんとした指導を行っている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒に生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)について、きちんとした指導を行っている。
<教職員>	本校の教員は、生徒の生活面(服装、遅刻、礼儀、交通安全等)について、きちんとした指導を行っている。
生活面の具体的な指導については、教職員に比べ、生徒、保護者は肯定的な回答が多いのが特徴である。指導の徹底が浸透し意識が高まっている。生活指導は毎日の習慣づけにも関係しているので、職員間や学校、家庭間の共通理解のもと、一層の連携が必要である。	



【学習指導①】

予習復習の徹底

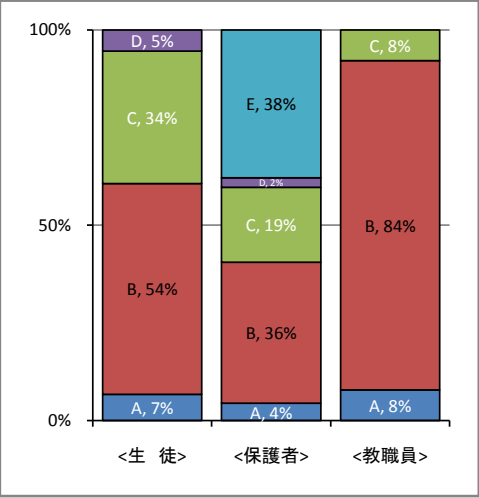
<生徒>	私は、毎日予習復習をして授業に臨んでいる。
<保護者>	私の子供は、毎日予習・復習をして授業に臨んでいる。
<教職員>	本校の教員は、毎日の予習復習など家庭学習の習慣を身に付けさせている。
教職員や保護者の認識に比べ、生徒の予習復習の習慣は定着していないといえる。学年別の集計によると、1年生では肯定的回答が25%だった。初期段階から学習する方向に向かわせるような、具体的な方策を検討し、実施する必要がある。	



【学習指導②】

わかりやすい授業

<生徒>	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
<保護者>	宇北高の先生はわかりやすい授業を行っている。
<教職員>	本校の教員はわかりやすい授業を行っている。
教職員は、日々の教材研究はもちろん、授業研究などを通して少しでもわかりやすい授業を提供しようと努力している。その一方で39%の生徒が否定的にとらえている。まだまだ改善の余地が残されている。	

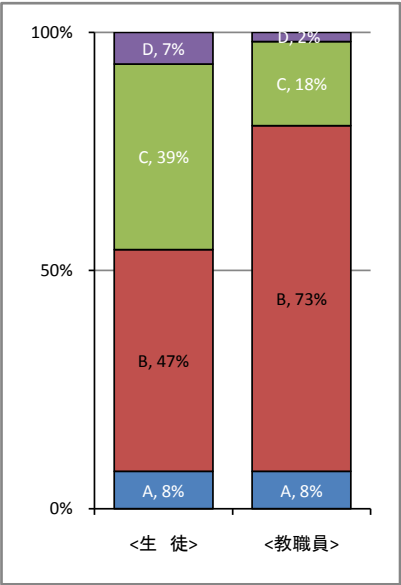


【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【 学習指導 ③ 】

テスト後の解説

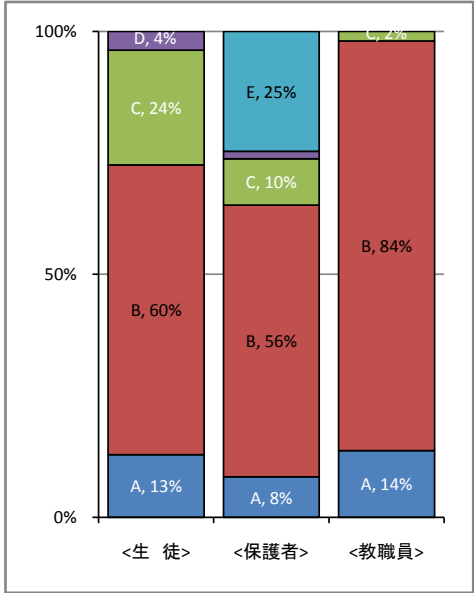
<生 徒>	宇北高の先生はテスト後に問題を丁寧に解説してくれる。
<教職員>	本校の教員はテスト後に問題を丁寧に解説している。
両者の意識のずれが読み取れる。生徒の40%以上が否定的な回答であることを受け止め、形式的な取り組みに終わることなく、工夫改善を図る必要がある。	



【 生活指導 ① 】

生徒からの相談

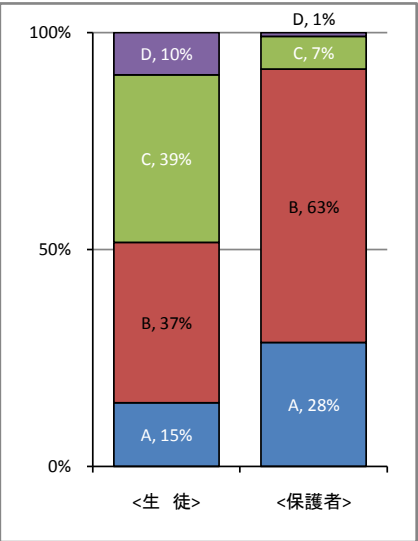
<生 徒>	宇北高の先生は生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
<保護者>	宇北高の先生は、生徒からの相談に誠実に対応してくれている。
<教職員>	本校の教員は生徒からの相談に誠実に対応している。
肯定的な回答の割合は生徒73%、保護者64%、教職員98%と評価に差が見られる。生徒が相談しやすい環境を作り、家庭と連携しながら、生徒のニーズに応える努力が求められる。	



【 生活指導 ② 】

規則の遵守

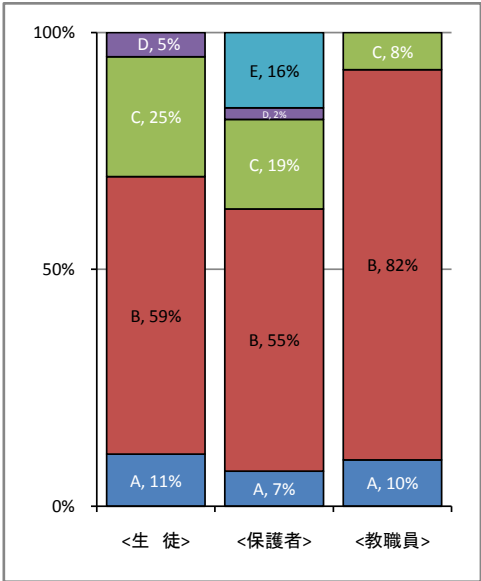
<生 徒>	宇北高生は、服装、頭髪など学校の規則を守っている。
<保護者>	私は、子供の服装、頭髪、交友関係や遅刻等に常に関心を払っている。
生徒の回答は自分を含めた全体的な見方である。重点目標④で生活指導は徹底されていると感じる生徒の割合が80%弱にもかかわらず、規則を守っていると感じている割合が50%程度であることは、なかなか徹底できない生徒が多いことを表している。	



【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

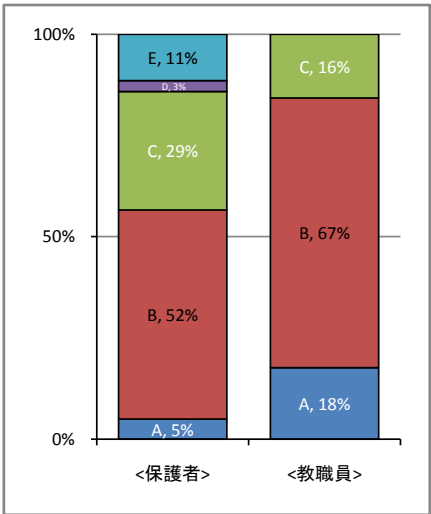
【進路指導】
進路情報

<生徒>	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
<保護者>	宇北高が提供する進路情報は、役に立っている。
<教職員>	本校が提供する進路情報は、役に立っている。
生徒の30%が否定的な回答をしているが、概して肯定的である。しかし生徒がどのような情報を必要としているかを具体的に把握し、対応していく必要がある。	



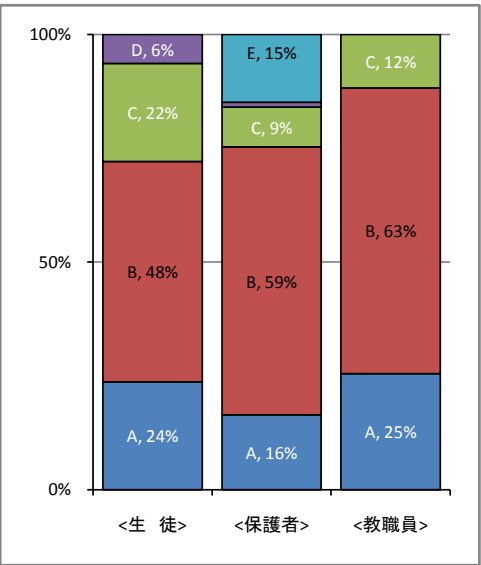
【情報発信】
教育方針や情報の伝達

<保護者>	宇北高は、教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
<教職員>	本校は教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている。
肯定的な回答は、保護者57%、教職員85%となっている。努力しているという学校側と、その努力が見えないという保護者側の意識の違いが浮き彫りになっている。学校の情報伝達の手段と方法についてさらに有効な方法を検討する必要がある。	



【国際理解教育】
内容の充実

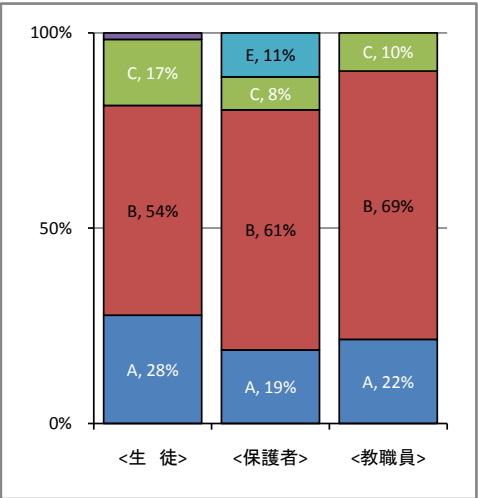
<生徒>	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
<保護者>	宇北高の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
<教職員>	本校の国際理解教育は他校に対して誇れる充実した内容である。
3者とも肯定意見が70%以上であるが、生徒の28%が否定的回答をしている。一層の内容の充実と精選が必要である。国際理解教育がどこの中学校や高等学校でも行われている現在、国際理解教育の老舗としての本校の学習内容の質の向上、内容の充実が求められる。	



【 A,大いにそう思う B,そう思う C,あまり思わない D,まったく思わない E,わからない 】

【 部活動 】
活発さ

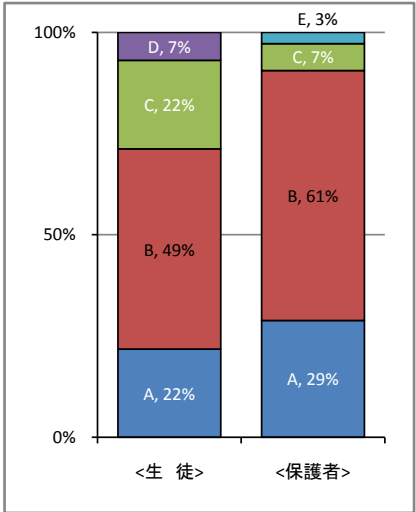
<生 徒>	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
<保護者>	宇北高は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
<教職員>	本校は、部活動・生徒会活動が活発に行われている。
生徒82%、保護者80%、教職員91%が「大いにそう思う」「そう思う」と回答し、全体的に良好な数値である。	



【 教育活動全般 ① 】

宇北高生としての誇り

<生 徒>	私は、宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
<保護者>	私は、子供が宇北高の生徒であることに誇りをもっている。
90%の保護者が子供の宇北高の生徒であることに誇りをもっているのに対し、生徒は71%と違いがでている。誇りを持ってない生徒はその原因がどこにあるのか、認めてもらえる場面をもちえているのか、多面的に洗い出して対応していきたい。	



【教育活動全般 ②】

ホームページ

<保護者>	宇北高のホームページを見ている。
全体の1／2の保護者が本校のホームページを見ているという結果である。一層の内容の充実が必要である。	

ホームページ閲覧と他の項目との相関関係

積極的に見ている人と見ていない人とで結果に大きな違いが出ている項目は「1 私の子供は毎日予習・復習をして授業に臨んでいる」「2 私は、子供と進路について、よく話をしている」「6 宇北高は教育方針や学校の情報を保護者に積極的に伝えている」などである。肯定的に答えた保護者はホームページをよくみることで学校の教育方針や情報をよく理解し、積極的に子供と学校生活について話をしていることがうかがえる。今後もホームページにおける情報の提供を迅速におこなっていきたい。

【教育活動全般 ③】

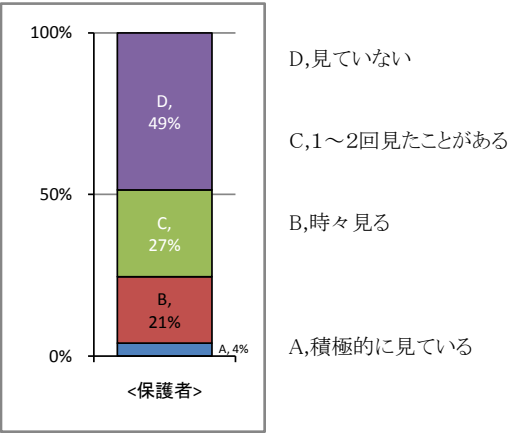
PTA総会・学年部会への参加

<保護者>	私はPTA総会や学年部会に参加した。(授業参観のみを含む)
約1/4が両方に不参加であるのは残念である。いかに多くの保護者に学校にきていただくか、総会、部会の持ち方を検討する必要がある。	

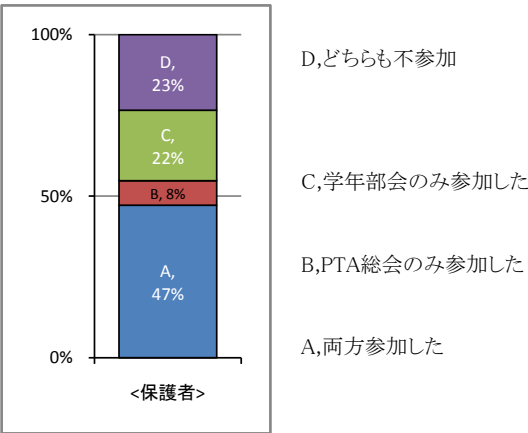
PTA参加と他の項目との相関関係

この2つに参加した人とどちらも不参加だった人とで大きな違いが出ている項目は「3 私は、子供の服装、頭髪、交友関係や遅刻等に常に関心を払っている」「5 宇北高が提供する進路情報は、役に立っている」「宇北高の先生は、生徒からの相談に誠実に対応してくれている」となっている。学校に協力する姿勢と肯定的な見方が感じられる。

ホームページ



PTA総会・学年部会への参加



3 改善に向けた今後の取り組み

本アンケートの結果及び校内各部・各学年、学校評議員、学校関係者からの評価も踏まえ、本年度重点目標の達成状況や達成に向けた取り組みの状況を把握整理した上で、来年度に向けた改善方策の検討を行い、重点目標を設定する。